



2020年8月14日

各位

会社名 プレミアグループ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 柴田 洋一
 (コード番号: 7199 東証市場第一部)
 問合せ先 常務執行役員 金澤 友洋
 (TEL. 03-5114-5708)

2021年3月期 業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年5月29日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の通期連結業績予想及び配当予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2021年3月期連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	営業収益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想 (B)	17,140	2,865	1,891	1,894	148.38
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	14,016	2,604	1,452	1,466	112.33

(2) 公表の理由

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、将来の見通しを合理的に算定することが困難であると判断し、未定としておりました。未だ収束の目途が立たない状況ではありますが、緊急事態宣言解除による経済活動の再開や個人消費の回復状況を勘案し、現時点において入手できる情報に基づき連結業績予想を策定いたしましたので開示いたします。

(3) 業績予想の理由

当社の主要事業であるクレジット事業、及び故障保証事業の当第1四半期における取扱高は、緊急事態宣言に伴う外出自粛や個人消費の落ち込みなどの影響を受け、前年対比で減少しており、通期においても前年比で減少するものと見込んでおります。営業収益は、クレジット事業等における将来収益(繰延収益)が実現したこと、2020年4月1日付で中央債権回収株式会社の株式を取得し、連結子会社化したことによる収益増加により、堅調に推移する見込みとなっております。また同社株式取得に伴い、当第1四半期において594百万円を負ののれん発生益として計上しております。費用面では、取扱高の減少に連動して営業費用の減少が見込まれておりますが、子会社の増加に伴う人件費の増加等により一部費用が増加する見込みとなっております。



このような状況から、当期における連結業績予想は、営業収益 17,140 百万円、税引前利益 2,865 百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益 1,894 百万円を見込んでおります。

2. 配当予想について

(1) 配当予想

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回発表予想	22.50	22.50	45.00
当期実績			
(ご参考) 前期実績 (2020 年 3 月期)	22.00	22.00	44.00

(2) 公表の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な課題と認識するとともに、業績や事業拡大に向けた資金需要に対応した内部留保の確保を総合的に勘案したうえで、安定的かつ継続的な配当を実施していきたいと考えております。内部留保資金につきましては、当社グループの各事業の円滑な運営、持続的成長のための新規事業の推進に必要な投資、借入金返済等による財務体質の強化等に活用してまいります。

以上の基本方針に基づき、2021 年 3 月期の配当金につきましては、1 株当たり配当金を 22 円 50 銭とする予定です。

(注) 上記の業績予想及び配当予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上